



中国の新発 HIV 感染者は年五万人 九割超が知らぬ間に感染

中国生殖健康网 人口宣教中心 www.nn365.orc.cn 2009-02-02 08:13 文章来源：人民网

現在、我が国毎年のエイズウィルス (HIV) 感染者は 5 万人であり、この新たに発生した感染者のうち 91% は、自分が感染していることを知らない。もし、これに既に感染しているものや終始未検出であったものの人数を足せば、更に膨大な感染者が人ごみの中に紛れ込んでしまうと、エイズ防止の形勢は、樂觀できるものではなくなる。これは今月 (2009 年 02 月) 13 日に黒竜江省エイズ予防管理国際検討会及び教育グループの中で、中国 CDC の性病エイズ予防治療センター主任の呉尊友教授が報告の中で指摘した現実だ。

呉尊友主任は累計発見感染者数や死亡者数及び新たに発見された感染者数の幾つかの項目を総合的に検討し、2008 年 09 月末までの時点で我が国においては、現在生存しており既に感染が確認されている患者数は 22.9 万人、現在生存していてエイズウィルス感染が検出されていないものは 50.85 万人に達しており、両者の比率はおよそ 1 対 2.2 となるとした。つまり、1 名の感染者が見つかった場合、その背後には少なくとも 2 名の未発見感染者がいるということになる。

エイズの予防が難しくなる重要な原因は、既に性伝播が昨今の HIV 伝播の主要ルートとなっており、全新発生感染者の 57% 近くを占めていることで、ここには夫婦間伝播や売春による伝播、職場の同僚知人間の性感染が含まれる。その中で、職場の同僚知人巻に発しする性的関係が日増しに注目を浴びている。なぜならばこのグループに属する人の集合数 (カージナル数) は膨大で、ますます隠蔽されがちだからだ。呉尊友主任は「性感染中、男と男の性行為 (MSM、同性愛含む) が最も危険だ。工業化国家にあっては、MSM によるエイズウィルスのグループ感染というリスクは通常人のグループの 19 倍であり、発展中の国家における感染リスクは非常に高くなる」と言う。

(感染者たちが) 防備の意識が薄くて感染率を上昇させている一方で、偏見が多く感染者を地下に潜らせてしまう一面もあり、速やかな治療の妨げとなっている (宮本注: エイズを中文では音から『艾滋病 (アイビービン: aizi bing)』と書きますが『談艾色变 (アイスービエン: エイズの話を知ると顔色が変わる:)』と言って差別することがある。また同様に、愛で死ぬ病気という意味と音から「愛死病 (アイスービン)」という表記や愛滋病 (アイビービン: aizi bing) という表記も昔はよく見かけました)。これに対し、中国 CDC の性病エイズ予防治療センターの張福傑教授は、「我が国では 2003 年からエイズの無料抗ウィルス治療を実施してきており、大量の患者の生命が救われ、病死率は極端に下降したが、治療失敗と死亡という問題は依然として残っている。治療失敗の原因は、1. スタンダードな治療が出来ないこと、2. 多くの病人が治療を受ける際には『既に手遅れの状態』になっており、治療効果もよくなささせている」と語る。

抗ウィルス剤治療はウィルスの複製を抑制し、損傷した免疫機能を回復や部分的に回復する。非常に多くの患者が服用の仕方や服用時間、服用回数を守らぬために、HIV ウィルスが変異し、薬剤耐性を持ち、結果的に治療に失敗する。このほかに、もし患者が治療を受ける際に病状が既に手遅れ状態になっていた場合、長期の治療効果は早期治療に対して個人差があり、且つその際に患者の免疫力が低下していることから、各種感染を発症しやすくなる。治療を受けた後の患者死亡の主なものは腫瘍の様なエイズに関連した疾病である。

張福傑は、「エイズは治療を成功させねばならない、患者のもっともキーとなるのは、一にハイリスクグループの定期検査で、陽性と検出された後も定期的に患者宅を訪問してフォローをし、条件に合致すれば速やかに治療をし、決して病気が救いようのないほど深刻化させぬようにどのようなことがあっても薬を再服用させること。これは治療が遅れば遅れるほど治療効果に差が出る為である; 二に、抗ウィルス治療は終身のものであり、患者は薬の服用を続けなければならない。同時に、定められたときに定められた量を、終生服用しなければならない。たとえ当該病人が『お、治った!』と感じたとしても、決して『OK、問題ない』とばかりに、定められた時に薬を服用しない、或いは服用を停止するといった自己判断をしてはならない」と特にこれを強調している。研究によると、エイズ患者が早期のうちにスタンダードな治療

をすれば、社会の平均寿命に到達することも可能だという。

..... 以下は中国語原文

我国年新发 HIV 感染者 5 万人 超过 9 成不自知

中国生殖健康网人口宣教中心

www.mn365.orc.cn

2009-02-02 08:13

文章来源：人民网

目前，我国每年新感染艾滋病病毒（HIV）者达 5 万人。在这些新发生的感染者中，91% 的感染者不知自己已感染。如果再加上既往感染而始终未检出者人数，便有一个更加庞大的感染者融于人群中，防艾形势不容乐观。这是在本月 13 日黑龙江省艾滋病预防与控制国际研讨会与培训班上，中国疾病预防控制中心性病艾滋病防治中心主任吴尊友教授在报告中指出的现实。

吴尊友主任在综合考察了累计发现感染人数、死亡人数及新发感染人数几个项目后指出，截止到 2008 年 9 月底，在我国，存活并已发现的感染者人数为 22.9 万人，存活但尚未检测出的艾滋病感染者达 50.85 万人，两者的比例大约为 1：2.2。就是说，每发现一名感染者，背后便有至少 2 名感染者尚未被发现。

艾滋病预防形势严峻的重要原因在于，性传播已成为如今 HIV 传播的主要途径，占全部新发感染近 57% 的比例，这包括夫妻间传播、卖淫传播和同事熟人性关系的传播。“其中，同事熟人之间发生的性关系日益受到关注，因为这一人群基数大，也更为隐蔽。”吴尊友主任说。而在性传播中，男男性行为（MSM，含同性恋）尤为危险。在工业化国家，MSM 人群感染艾滋病病毒的风险是普通人群的 19 倍，在发展中国家，感染风险则更高。

一方面是防范意识不强，使感染率上升，另一方面又谈艾色变，使大量的感染者处于“地下”状态，得不到及时治疗。对此，中国疾病预防控制中心性病艾滋病防治中心张福杰教授介绍，我国从 2003 年起实施艾滋病免费抗病毒治疗，挽救了大量患者的生命，病死率大大下降，但治疗失败和死亡的问题依然很严重。治疗失败的原因，一是不能坚持规范治疗；二是很多病人接受治疗时疾病已发展晚期，使治疗效果不佳。

抗病毒治疗可以抑制病毒复制，恢复和部分恢复受损的免疫功能。很多病人没有按要求、按时、按次吃药，导致 HIV 病毒变异产生耐药性而使治疗失败。另外，如果病人接受治疗时病情已经发展到晚期，长期的疗效比早期治疗的病人差，而且由于此时病人的免疫力十分低下，也最容易发生各类感染。接受治疗后病人的死亡，主要是死于艾滋病相关疾病，如感染和肿瘤等。

张福杰特别强调，艾滋病要治疗成功，病人最关键：一是高危人群定期筛查，检测为阳性后要定期跟踪随访，一旦符合条件就要及时治疗，千万别等病人膏肓再吃药，因为治疗晚，疗效差；二是抗病毒治疗是终身的，病人必须坚持服药，同时一直保持好的依从性，定时定量，终身吃药，当病人自我感觉恢复了，千万不能以为自己好了，没事了，不再按时服药，甚至停止服药。研究提示，艾滋病人如果早期规范治疗，有可能达到全社会平均预期寿命。